

※A 4 ルーズリーフにて提出すること（表紙付き・学籍番号と氏名を記入）

小児の発達段階の区分に特徴を P 225～258.読み込み大切と思われることを抜書きしてください。

赤字の問いは必ず説明する。それ以外は各自で空欄以内に納めてください。

テキストにラインをすること。

※提出日 令和 3 年 5 月 10 日（月）

胎生期	受精から出生（身長：50 cm、体重：3000 g 頭囲 33 cm、胸囲 32 cm、脳 350～400 g） 正期産：37 週 0 日～41 週 6 日
特徴	胎児子宮内の羊水の中にあつて、胎盤と臍帯を介して母体から必要な物質を受け取り、発育・成熟して子宮外で生存可能な能力を身につける。（テキスト P 131） 妊娠期間：初期（1 4 週未満）0 日：最終月経第 1 日 14 日：実際の妊娠成立（受精）10 週未満：（胎芽）10 週から胎児（流産：22 週未満）・20～21 週（第 6 月）⇒胎児は体重 500 g 相当・早産：22 週～37 週未満⇒胎児は体重 1000 g
新生児期	出生～生後 4 週（28 日）未満
特徴	・胎便とは ・生理的体重減少とは ・生理的黄疸とは
乳児期	出生～満 1 歳未満。
特徴	・カウプ指数とは ・離乳食の開始のめやすはいつ ・大泉門の閉鎖いつ
幼児期	満 1 歳～就学前
特徴	・必要水分は
学童期	就学～12 歳（小学生時代）
特徴	・ローレル指数とは ・スキヤモンによる組織・臓器の成長でリンパ系のピークいつか
思春期	10～18 歳ごろ（第二性徴の出現から性成熟までの段階）
特徴	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・循環血液量は成人では体重の 1/13 程度である、乳幼児では体重の 1/9 である。・白血球数は新生児期に最も多い。・免疫グロブリンには IgG,IgA,IgM,IgD,IgE5 種類があり、感染防御にはたらくのは IgG,IgA,IgM である。・授乳禁止（又は慎重実施）が必要な場合 P 242 理解しましょう。・育児用粉ミルクの特徴：牛乳もしくは特別牛乳などを加工し、これに乳幼児に必要な栄養素を加えたものビタミン K や鉄など不足。母乳に含まれる免疫グロブリン（IgA）は母乳を介して獲得。・離乳完了期⇒生後 12～18 か月。・2005 年（H17）「食育基本法」⇒栄養教育（価値観・知識・行動・習慣・分化）学校における食育推進 P 248。 ・子どもの発達を評価の 3 分野①粗大運動⇒立ち上がる・歩くなどの全身運動。②微細運動⇒物の持ち方・スプーンや箸・ハサミ。③社会性⇒（他者の認識・人見知り・友達との人づくり）。・独歩 12～13 か月。・シャフリングベビーとは（P 237） ・予防接種の対象疾患（ワクチン名）の定期接種ワクチン名（9 つ）と任意接種ワクチン名（3 つ）を覚えましょう。P 256 <p>参考図書 1) 母性・小児看護、2) みるみるナーシング（小児看護第 6 版 医学評論社）</p>